

集会案内

第3回日本光合成学会および公開シンポジウム
「光合成と藻類バイオテクノロジー」
「植物とCO₂」

2012年6月1日(金) 12:30 ~ 2日(土) 15:00

東京工業大学すずかけキャンパス (すずかけ台大学会館 (すずかけホール))

今年の第3回日本光合成学会および公開シンポジウムは、東京工業大学において開催します。概略は以下の通りです。また、一般講演(口頭発表)およびポスター発表を予定しておりますので、若い学生の方々のご参加を、先生方は是非おすすめください。

日時： 2012年6月1日(金) 12:30 ~ 2日(土) 15:00

場所： 東京工業大学すずかけキャンパス (すずかけ台大学会館 (すずかけホール))

<http://www.sok.titech.ac.jp/gakugai/gakum/horule.htm>

参加費： 無料

公開シンポジウム1 (6月1日)

「光合成と藻類バイオテクノロジー」

オーガナイザー 皆川 純 (基礎生物学研究所)

昨今、バイオ燃料等と結びつけて光合成が、そしてそのプラットフォームとして藻類が持てはやされている。しかし、そうした視点で藻類を見ている研究者と、もともと藻類を用いて光合成関連分野の研究を行っている研究者はやや乖離している感がある。そこで、藻類エンジニアリングの高い技術を用いて光合成エネルギー代謝やその周辺の研究を展開している研究者にご講演をお願いした。「藻類を用いることで何をどこまで研究できるのか」議論してみたい。

講演予定者

田中 寛 (東京工業大資源化学研究所)

「紅藻シゾン *Cyanidioschyzon merolae* における代謝制御」 (仮題)

福澤 秀哉 (京都大学大学院生命科学研究所)

「緑藻クラミドモナスにおけるCO₂の濃縮とセンシングならびに代謝変換」

松田 祐介 (関西学院大理工学部生命科学科)

「珪藻エンジニアリングによるCO₂固定研究」

原山 重明 (中央大学理工学部生命科学科)

「バイオエネルギー生産と藻類バイオテクノロジー」 (仮題)

公開シンポジウム2 (6月2日)

「植物とCO₂」

オーガナイザー 寺島 一郎 (東京大学大学院)

過去150年間、大気CO₂濃度は増加し続けている。今後、CO₂濃度の増加速度は緩和されるかもしれないが、産業革命以前の280 ppmの2倍の濃度になるのは避けられないだろう。これは、光合成生物にとって、基質濃度の激増を意味している。このシンポジウムでは、植物のCO₂応答を長年研究してきたパイオニアの基調講演に加えて、公募による講演やポスターも含めて、植物や藻類のCO₂応答を多角的に議論したい。

講演予定者

牧野 周 (東北大学大学院農学研究科)

「高CO₂環境とC3光合成の窒素利用」

長谷川 利拡 (農業環境技術研究所)

「つくばみらいFACE実験によるイネの高CO₂応答の検証」

深山 浩 (神戸大学大学院農学研究科)

「高CO₂環境に適したRubiscoの導入によるイネの光合成能力の改良」

多くの方々のご参加をお待ちしています。なお、参加費は無料ですが、発表には学会入会が必要です。また、優秀発表賞（ポスター賞と口頭発表賞）を選出します。沢山の発表申し込みをお待ちしています。尚、口頭発表の演題数が決まっていますので、口頭発表で申し込まれてもオーガナイザーから変更をお願いするかもしれません。参加ご希望の方は、電子メール (photosymposia@bio.c.u-tokyo.ac.jp) でご登録をお願いします。シンポジウムは公開で誰でも参加できます。一般講演（口頭発表）およびポスター発表は会員に限らせていただきます（非会員で発表を希望される方はご入会ください。シンポジウム当日ご入会いただくことも可能です）。Web上 (<http://photosyn.c.u-tokyo.ac.jp/>) でも詳細をお知らせします。

電子メールでの登録内容（申し込み締切 平成24年5月25日）

氏名：

所属：

連絡先（住所、電話/FAX、E-mail）：

懇親会参加希望（一般 3000円、学生 2000円の予定）： 有 無

発表希望： 有 無、 一般講演（口頭発表） ポスター発表

タイトル：

発表者氏名・所属：

内容（2~3行程度）：